

【令和3年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【理科】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象や生き物に対する興味をもっている児童が多いが、住宅街の中の学校なので、実際の自然や生き物に慣れ親しむ機会は少ない。 ・実験や観察の結果から原因を考え法則性を見いだすなど、科学的概念を導き出したり、既習事項を新たな事象に当てはめて考えたりすることは苦手である。 ・実験結果や観察記録をまとめる力はまだ十分とはいえず、指導が必要である。 ・自然事象に関する知識・理解はよく定着しているが、実験観察する用具の扱い方に関する知識の定着が不十分である。
<p>■指導についての課題</p>	<p>◇論理的思考力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察は、結果が得られたことだけで満足してしまう傾向がある。基本概念の暗記ではなく、その結果における共通点や相違点などに気付かせ、科学的概念を導き出す経験が必要である。 <p>◇表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書を写すだけのノートではなく、自分で工夫をしたまとめ方ができるようにする。また、実験結果の考察を書いたり、発表したりする経験がさらに必要である。 ・自分の考えを的確に表現したり、他者に分かりやすく伝えたりするために交流し合う時間の確保が不十分である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>◇論理的思考を伸ばすために</p> <p>○問題解決型・探究型の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいを明確にすることで、児童が何をして、何を考えればよいのか分かるようにする。 ・実験に際して、既にもっている知識や経験から結果の予想をする活動を確保し、見通しをもって考える時間を重視する。 ・得られた実験や観察の結果から、どんなことが言えるのか自分なりに考える時間を確保する。 ・本時の学習と既習内容を関連付けることで様々な視点で考察できるようにする。 ・單元ごとの振り返りや問題集などを活用した反復学習を行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 <p>◇表現力を伸ばすために</p> <p>○協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内での発表の時間を設定して、自分の考えを表現する機会を増やす。 ・互いを認め合い、協力することによって考えの質の高まりを感じさせる。 ・自分の考えを明確にするとともに、さらに深めることができるようにするため、児童同士で意見交換をする場面を設定する。 <p>○指導と評価と支援の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートの点検を定期的に行い、どの程度習熟できているか把握していく。まとめ方が難しいようであれば、ワークシート等を準備しまとめの支援をする。 <p>◇興味関心、自然を愛する心を伸ばすために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察で、できるだけ「本物を見せる」機会を作り、知識の裏付けをもたせるようにする。また、全体に提示する際、教材提示装置やプロジェクターなどを活用していく。 ・実際に児童の身の回りで起きている自然現象を教材として扱うことにより、学習に興味をもち、児童が主体的に学ぶことを促す。 ・教科書巻末の資料を利用して、実験観察する用具の扱い方を繰り返し確認する。 ・本時の学習のめあてに対応した振り返りを行うことで、授業や單元ごとの学習の理解力を深める。 ・ICT機器で、学習の理解を視覚的に補助したり、学び合い・伝え合いのツールとしたりして活用する。

